

基本情報



【年 齢】
43歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
東京都足立区
【前 職】
株式会社ADEKA
(加工食品研究開発)
【活動時期】
R2.11～

協力隊に応募したきっかけ

食の開発に携わった中で、持続可能な食の循環社会を目指す仕事をしたい思いが高まり、ローカルな場での活動を考えた。地域課題のセミナーなどに参加する中で、(一社)いわて圏主催イベントにて、当市の協力隊の募集を知った。

今後の抱負・任期後の目標

西洋野菜の産地化というテーマで活動する中で、生産者や飲食店など食に関わる様々な方々とつながることができた。そして、皆様が抱える地域の生産流通に関わる課題を知ることができた。今後は、これらを解決するための仕組み作りを進め、持続可能な食の循環社会の実現に向けて行動していきたい。そして、地域のみなさまに温かく受け入れられていることに感謝し、将来の一関市の形について対話して、仲間をつくりたい。

活動内容

●西洋野菜の生産者の拡大

一関市の新たな園芸品目として、西洋野菜の産地化に向けて取り組んでいる。市場需要や栽培適正の観点から、エシャロット(西洋タマネギ)とリーキ(西洋ネギ)を特産化の軸に据えることとして、市内農家と協力し、適正な栽培方法の確立、品質規格の設定を行っている。



●西洋野菜の認知拡大

市民へのPR、そして生産者と飲食店のつながりをつくるイベントとして、市内飲食店で、西洋野菜を使った期間限定メニューを提供する「HELLO! セイヨウヤサイフェア」をこれまで3回実施した。



●西洋野菜の販路開拓

西洋野菜の生産者たちとともに、販売PRをする組織「西洋野菜プロジェクト」を設立した。“いちベジ”ブランドの立ち上げ、道の駅や産直と協力した市内外の販路開拓を行っている。また、地産地消の仕組みづくりにデジタルを活用するべく、一関工業高等専門学校と共同で進めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0191-82-3050 :南部農業技術開発センター
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
<https://www.facebook.com/ichinosekiyasai>